

# RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでのWAN接続の編集

## 目的

ワイドエリアネットワーク(WAN)は、インターネットなどの複数のLANで構成されるネットワークです。RV0XXシリーズVPNルータのWANポートは、通常、インターネットへの接続に使用されます。RV0XXシリーズルータは、WANポートに対して複数の接続タイプをサポートしています。必要な接続タイプは、ISPによって異なります。

この記事では、RV016、RV042、RV042G、およびRV082シリーズVPNルータでWAN接続タイプを編集する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- ・ RV016
- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

## [Software Version]

- ・ v4.2.2.08

## IPv4用のWAN接続の編集

注：IPv6アドレスのWAN接続を編集するには、「[IPv6](#)」セクションに移動します。

ステップ 1：Router Configuration Utilityにログインし、Setup > Networkの順に選択します。Networkページが開きます。

## Network

Host Name :  (Required by some ISPs)

Domain Name :  (Required by some ISPs)

### IP Mode

Mode	WAN	LAN
<input checked="" type="radio"/> IPv4 Only	IPv4	IPv4
<input type="radio"/> Dual-Stack IP	IPv4 and IPv6	IPv4 and IPv6

IPv4

IPv6

### LAN Setting

MAC Address : 54:75:D0:F7:FC:38



Device IP Address :

Subnet Mask :  ▼

Multiple Subnet : ☐ Enable

### WAN Setting

Please choose how many WAN ports you prefer to use :  ▼ (Default value is 2)

Interface	Connection Type	Configuration
WAN1	Obtain an IP automatically	
WAN2	Obtain an IP automatically	

ステップ 2 : WAN Settingセクションまでスクロールし、編集する特定のWANインターフェイスのConfigurationアイコンをクリックします。Networkページに追加情報が表示されます。

## Network

### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Obtain an IP automatically ▼

☐ Use the Following DNS Server Address

DNS Server (Required) 1 : 0.0.0.0

2 : 0.0.0.0

MTU : ☒ Auto ☐ Manual 1500 bytes

注：インターフェイスは、編集するWANインターフェイスを示す読み取り専用フィールドです。

## Network

### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Obtain an IP automatically ▼

☐ Use the Following DNS Server Address

DNS Server (Required) 1 : 0.0.0.0

2 : 0.0.0.0

MTU : ☒ Auto ☐ Manual 1500 bytes

ステップ 3 : WAN Connection Typeフィールドで、インターネット接続のタイプを選択します。

- ・ [IPを自動的に取得する](#):ISPがIPアドレスを動的に割り当てる場合は、このオプションを選択します。
- ・ [固定IP](#):ISPがアカウントに固定IPアドレスを割り当てている場合は、このオプションを選択します。
- ・ [PPPoE](#)(Point-to-Point Protocol over Ethernet):ISPがPPPoEを使用してインターネット接続を確立している場合は、このオプションを選択します ( DSL回線の場合に一般的 ) 。
- ・ [PPTP](#) ( Point-to-Point Tunneling Protocol ; ポイントツーポイントトンネリングプロトコル ) :ISPでPPTPを使用している場合は、このオプションを選択します。
- ・ [トランスペアレントブリッジ](#) : このルータを使用して2つのネットワークセグメントを接続する場合は、このオプションを選択します。

## IPアドレスを自動的に取得する

The screenshot shows a 'Network' configuration window titled 'Edit WAN Connection'. The 'Interface' is set to 'WAN1'. The 'WAN Connection Type' is set to 'Obtain an IP automatically' via a dropdown menu. Below this, there is a checked checkbox for 'Use the Following DNS Server Address'. Two text boxes for DNS servers are visible: 'DNS Server (Required) 1' with the value '209.165.200.225' and '2' with the value '0.0.0.0'. At the bottom, the 'MTU' is set to 'Manual' with a value of '1400' bytes. 'Auto' is also an option but is not selected. 'Save' and 'Cancel' buttons are at the bottom left.

**Network**

**Edit WAN Connection**

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Obtain an IP automatically ▼

☒ Use the Following DNS Server Address

DNS Server (Required) 1 : 209.165.200.225

2 : 0.0.0.0

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1400 bytes

Save Cancel

注：この接続タイプでは、ISPによってIPアドレスとDNSサーバのIPアドレスが自動的に割り当てられます。次の手順はオプションです。

ステップ 1：DNSサーバのIPアドレスがわかっていて、DNSサーバを指定する場合は、Use the Following DNS Server Addressチェックボックスにチェックマークを入れます。

ステップ 2：DNS Server (Required) 1フィールドにDNSサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ 3：DNS Server 2フィールドに2番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ 4：該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU (最大伝送ユニット) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto：ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual：送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ 5：[Save] をクリックして、設定を保存します。

## スタティックIP

## Network

### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Static IP ▼

Specify WAN IP Address : 209.165.200.229

Subnet Mask : 255.255.255.224

Default Gateway Address : 209.165.200.230

DNS Server (Required) 1 : 209.165.200.225

2 : 0.0.0.0

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1300 bytes

ステップ 1 : Specify WAN IP Addressフィールドに、WANインターフェイスの外部IPアドレスを入力します。ISPからWAN IPアドレスが提供されます。

ステップ 2 : Subnet MaskフィールドにWAN IPアドレスのサブネットマスクを入力します。

ステップ 3 : Default Gateway AddressフィールドにデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

ステップ 4 : DNS Server (Required) 1フィールドにドメインネームサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ5: ( オプション ) セカンダリドメインネームサーバのIPアドレスがわかっている場合は、DNS Server 2フィールドにIPアドレスを入力します。

手順 6 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを

選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、Manualフィールドの横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

手順 7 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## PPPoE

### Network

#### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : PPPoE

Username : user1

Password : .....

Service Name : service1

☐ Connect on Demand : Max Idle Time 5 Min.

☒ Keep Alive : Redial Period 20 Sec.

☒ Use the Following DNS Server Address

DNS Server (Required) 1 : 209.165.200.225

2 : 0.0.0.0

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1300 bytes

Save Cancel

ステップ 1 : UsernameフィールドにISPアカウントのユーザ名を入力します。

ステップ 2 : PasswordフィールドにISPアカウントのパスワードを入力します。

ステップ 3 : Service Nameフィールドにサービス名を入力します。

ステップ 4 : 該当するオプションボタンをクリックして、サービスタイプを選択します。

- ・ オンデマンド接続 : 一定の非アクティブ時間が経過すると、インターネットへの接続が切断されます。[最大アイドル時間]に、インターネットへの接続が切断されるまでの時間を分単位で入力します。デフォルト値は 5 分です。
- ・ キープアライブ : インターネット接続は常にオンです。接続が常に維持されるように、ルータはデータパケットを定期的に送信します。Redial Periodフィールドに、ルータが別のデータパケットを送信するまで待機する時間を秒数で入力します。

ステップ5: ( オプション ) DNSサーバのIPアドレスを指定する場合は、Use the Following DNS Server Addressチェックボックスにチェックマークを付けます。DNSサーバのIPアドレスを指定しない場合は、ステップ8に進みます。

手順 6 : DNS Server (Required) 1フィールドにドメインネームサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ7: ( オプション ) セカンダリドメインネームサーバのIPアドレスがわかっている場合は、DNS Server 2フィールドにセカンダリドメインネームサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ 8 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ 9 : [Save] をクリックして、設定を保存します。



## PPTP

The screenshot shows a 'Network' configuration window titled 'Edit WAN Connection'. The 'Interface' is set to 'WAN1'. The 'WAN Connection Type' is set to 'PPTP'. The 'Specify WAN IP Address' field contains '209.165.200.335', the 'Subnet Mask' field contains '255.255.255.224', and the 'Default Gateway Address' field contains '209.165.200.209'. The 'Username' field contains 'user1' and the 'Password' field is masked with dots. Under the 'Connect on Demand' section, the 'Max Idle Time' is set to '5 Min.' and the 'Keep Alive' section is selected with a 'Redial Period' of '20 Sec.'. The 'MTU' section has 'Auto' selected, but 'Manual' is also shown with a value of '1300 bytes'. At the bottom are 'Save' and 'Cancel' buttons.

Field	Value
Interface	WAN1
WAN Connection Type	PPTP
Specify WAN IP Address	209.165.200.335
Subnet Mask	255.255.255.224
Default Gateway Address	209.165.200.209
Username	user1
Password	*****
Connect on Demand	<input type="radio"/> Connect on Demand : Max Idle Time 5 Min.
Keep Alive	<input checked="" type="radio"/> Keep Alive : Redial Period 20 Sec.
MTU	<input type="radio"/> Auto <input checked="" type="radio"/> Manual 1300 bytes

ステップ 1 : Specify WAN IP Addressフィールドに、WANインターフェイスの外部IPアドレスを入力します。ISPからWAN IPアドレスが提供されます。

ステップ 2 : Subnet MaskフィールドにWAN IPアドレスのサブネットマスクを入力します。

ステップ 3 : Default Gateway AddressフィールドにデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

ステップ 4 : UsernameフィールドにISPアカウントのユーザ名を入力します。

ステップ 5 : PasswordフィールドにISPアカウントのパスワードを入力します。

手順 6 : 該当するオプションボタンをクリックして、サービスタイプを選択します。

- ・ オンデマンド接続 : 一定の非アクティブ時間が経過すると、インターネットへの接続が切断されます。[最大アイドル時間]に、インターネットへの接続が切断されるまでの時間を分単位で入力します。デフォルト値は 5 分です。
- ・ キープアライブ : インターネット接続は常にオンです。接続が常に維持されるように、ルータはデータパケットを定期的送信します。Redial Periodフィールドに、ルータが別のデータパケットを送信するまで待機する時間を秒数で入力します。

手順 7 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ 8 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## トランスペアレントブリッジ

## Network

### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Transparent Bridge ▼

Specify WAN IP Address : 209.165.200.335

Subnet Mask : 255.255.255.224

Default Gateway Address : 209.165.200.209

DNS Server (Required) 1 : 209.165.200.225

2 : 0.0.0.0

Internal LAN IP Range : 209.165.200.229 to 209.165.200.232

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1300 bytes

ステップ 1 : Specify WAN IP Addressフィールドに、WANインターフェイスの外部IPアドレスを入力します。ISPからWAN IPアドレスが提供されます。

ステップ 2 : Subnet MaskフィールドにWAN IPアドレスのサブネットマスクを入力します。

ステップ 3 : Default Gateway AddressフィールドにデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

ステップ 4 : DNS Server (Required) 1フィールドにドメインネームサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ5: ( オプション ) セカンダリドメインネームサーバのIPアドレスがわかっている場合は、DNS Server 2フィールドにIPアドレスを入力します。

手順 6 : Internal LAN IP Range フィールドに内部LANアドレスのIPアドレス範囲を入力します。

手順 7 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ 8 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## IPv6のWAN接続の編集

注 : IPv6を設定するには、IP ModeエリアでデュアルスタックIPを有効にする必要があります

ステップ 1 : Router Configuration Utilityにログインし、Setup > Networkの順に選択します。Networkページが開きます。

## Network

Host Name :  (Required by some ISPs)

Domain Name :  (Required by some ISPs)

### IP Mode

Mode	WAN	LAN
<input type="radio"/> IPv4 Only	IPv4	IPv4
<input checked="" type="radio"/> Dual-Stack IP	IPv4 and IPv6	IPv4 and IPv6

IPv4

IPv6

### LAN Setting

MAC Address : 1C:DF:0F:36:F1:10


Device IP Address :

Subnet Mask :  ▼

Multiple Subnet : ☐ Enable

Add/Edit

### WAN Setting

Interface	Connection Type	Configuration
WAN1	Obtain an IP automatically	


IPv4 **IPv6**

**LAN Setting**

IPv6 Address :

Prefix Length:

**WAN Setting**

Interface	Connection Type	Configuration
WAN1	Obtain an IP automatically	

ステップ 2 : WAN Settingセクションまでスクロールし、IPv6タブをクリックします。


IPv4 **IPv6**

**LAN Setting**

IPv6 Address :

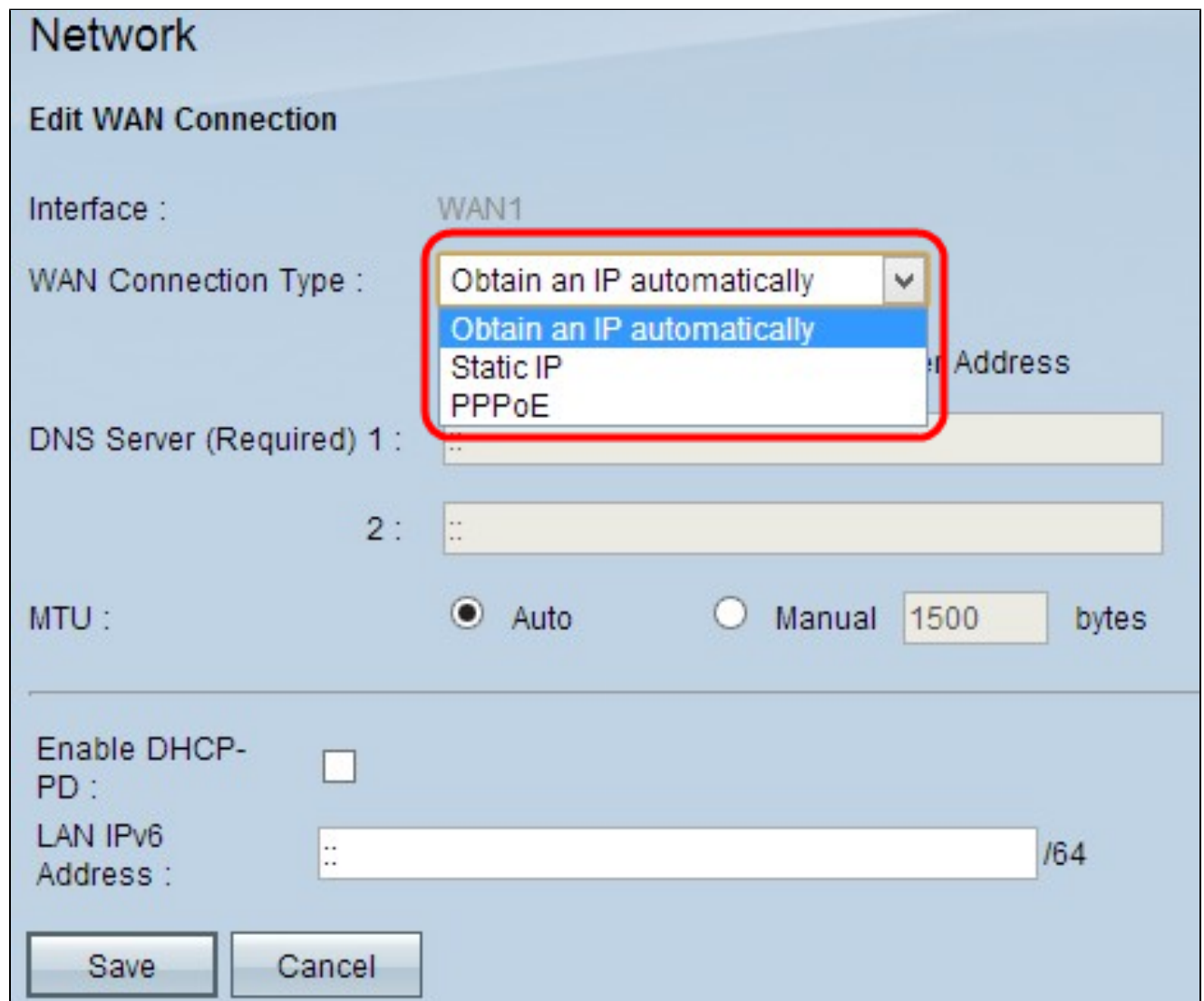
Prefix Length:

**WAN Setting**

Interface	Connection Type	Configuration
WAN1	Obtain an IP automatically	

ステップ 3 : 編集する特定のWANインターフェイスの設定アイコンをクリックします。  
Networkページに追加情報が表示されます。

注：インターフェイスは、編集するWANインターフェイスを示す読み取り専用フィールドです。



The screenshot shows a 'Network' configuration window titled 'Edit WAN Connection'. The 'Interface' is set to 'WAN1'. The 'WAN Connection Type' dropdown menu is open, showing four options: 'Obtain an IP automatically' (highlighted in blue), 'Static IP', 'PPPoE', and 'Other Address'. The 'DNS Server (Required)' section has two input fields, both containing '::'. The 'MTU' section has radio buttons for 'Auto' (selected) and 'Manual', with a value of '1500' and the unit 'bytes'. The 'Enable DHCP-PD' checkbox is unchecked. The 'LAN IPv6 Address' field contains '::' followed by a '/64' suffix. At the bottom are 'Save' and 'Cancel' buttons.

ステップ 4：WAN Connection Typeフィールドで、インターネット接続のタイプを選択します。

- ・ [IPを自動的に取得する](#):ISPがIPアドレスを動的に割り当てる場合は、このオプションを選択します。
- ・ [固定IP](#):ISPがアカウントに固定IPアドレスを割り当てている場合は、このオプションを選択します。
- ・ [PPPoE](#)(Point-to-Point Protocol over Ethernet):ISPがPPPoEを使用してインターネット接続を確立している場合は、このオプションを選択します (DSL回線の場合に一般的)。

IPアドレスを自動的に取得する



The screenshot shows a 'Network' configuration window with the title 'Edit WAN Connection'. The 'Interface' is set to 'WAN1'. The 'WAN Connection Type' is set to 'Obtain an IP automatically'. The checkbox 'Use the Following DNS Server Address' is checked. The 'DNS Server (Required) 1' field contains '::1278:ca32'. The 'DNS Server (Required) 2' field is empty. The 'MTU' section has 'Auto' unselected and 'Manual' selected with a value of '1200 bytes'. The 'Enable DHCP-PD' checkbox is checked. The 'LAN IPv6 Address' field is empty. At the bottom are 'Save' and 'Cancel' buttons.

Network	
<b>Edit WAN Connection</b>	
Interface :	WAN1
WAN Connection Type :	Obtain an IP automatically
	<input checked="" type="checkbox"/> Use the Following DNS Server Address
DNS Server (Required) 1 :	::1278:ca32
2 :	::
MTU :	<input type="radio"/> Auto <input checked="" type="radio"/> Manual 1200 bytes
Enable DHCP-PD :	<input checked="" type="checkbox"/>
LAN IPv6 Address :	:: /64
<input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

注：この接続タイプでは、ISPによってIPアドレスとDNSサーバのIPアドレスが自動的に割り当てられます。次の手順はオプションです。

ステップ 1：DNSサーバのIPアドレスがわかっていて、DNSサーバを指定する場合は、Use the Following DNS Server Addressチェックボックスにチェックマークを入れます。

ステップ 2：DNS Server (Required) 1フィールドにDNSサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ 3：DNS Server 2フィールドに2番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ 4：該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto：ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。



- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ5: ( オプション ) DHCPクライアントプロセスのIPv6を有効にする場合は、Enable DHCP-PDチェックボックスにチェックマークを付けます。ISPがDHCPv6経由でLANプレフィックスを送信できる場合に使用されます。

ステップ6: ( オプション ) LAN IPアドレスがわかっている場合は、LAN IPv6アドレスフィールドにLAN IPv6プレフィックスを入力します。

手順 7 : [保存]をクリックして設定を保存します。

## スタティックIP

### Network

#### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : Static IP

Specify WAN IP Address : ::1287:acb5:58aa

Prefix Length : 64

Default Gateway Address : ::1287:1cac:58ac

DNS Server (Required) 1 : ::1278:ca32

2 : ::

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1100 bytes

---

LAN IPv6 Address : ::1245:1285 /64

ステップ 1 : Specify WAN IP Addressフィールドに、WANインターフェイスの外部IPアドレスを入力します。ISPからWAN IPアドレスが提供されます。

ステップ 2 : Prefix LengthフィールドにWAN IPアドレスのプレフィックスを入力します。

ステップ 3 : Default Gateway AddressフィールドにデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

ステップ 4 : Domain Server (Required) 1フィールドにドメインサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ5: ( オプション ) セカンダリドメインネームサーバのIPアドレスがわかっている場合は、DNS Server 2フィールドにIPアドレスを入力します。

手順 6 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ7: ( オプション ) LAN IPアドレスがわかっている場合は、LAN IPv6アドレスフィールドにLAN IPv6プレフィックスを入力します。

ステップ 8 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## PPPoE

## Network

### Edit WAN Connection

Interface : WAN1

WAN Connection Type : PPPoE ▼

Username : admin

Password : .....

Service Name : service1

☒ Connect on Demand : Max Idle Time 3 Min.

☐ Keep Alive : Redial Period 30 Sec.

MTU : ☐ Auto ☒ Manual 1100 bytes

---

Enable DHCP-PD : ☒ ::

LAN IPv6 Address : ::1245:1285 /64

ステップ 1 : UsernameフィールドにISPアカウントのユーザ名を入力します。

ステップ 2 : PasswordフィールドにISPアカウントのパスワードを入力します。

ステップ 3 : Service Nameフィールドにサービス名を入力します。

ステップ 4 : 該当するオプションボタンをクリックして、サービスタイプを選択します。

- ・ オンデマンド接続 : 一定の非アクティブ時間が経過すると、インターネットへの接続が切断されます。[最大アイドル時間]に、インターネットへの接続が切断されるまでの時間を分単位で入力します。デフォルト値は 5 分です。

- ・ キープアライブ : インターネット接続は常にオンです。接続が常に維持されるように、ルータはデータパケットを定期的送信します。Redial Periodフィールドに、ルータが別

のデータパケットを送信するまで待機する時間を秒数で入力します。

ステップ 5 : 該当するオプションボタンをクリックして、WAN接続の伝送ユニットのサイズを選択します。MTU ( 最大伝送ユニット ) は、ネットワークを通過できるパケットの最大サイズを示します。

- ・ Auto : ネットワークに応じて送信パケットサイズを自動的に指定します。
- ・ Manual : 送信パケットのサイズを手動で指定します。このオプションを選択した場合は、手動の横のフィールドにパケットの最大サイズをバイト単位で入力します。デフォルト値は1500バイトです。

ステップ6: ( オプション ) DHCPクライアントプロセスのIPv6を有効にする場合は、Enable DHCP-PDチェックボックスにチェックマークを付けます。ISPはDHCP-PDを使用して、DHCPv6経由でLANプレフィックスを送信する可能性があります。

ステップ7: ( オプション ) LAN IPアドレスがわかっている場合は、LAN IPv6アドレスフィールドにLAN IPv6プレフィックスを入力します。

ステップ 8 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。